



就業中でも災害時には出動し活動する瀬戸内農協の皆さん

地域防災に貢献

瀬戸内農協が消防庁
長官表彰を受賞

瀬戸内農業協同組合は、3月7日に日本武道館で行われた自治体消防制度60周年記念式典で、消防団協力事業所として、長年地域の防災活動に協力してきた功績が認められ、消防庁長官表彰を受賞しました。

同組合は、地域の農業の発展のため、職員一丸となって地域に密着。また、職員に多くの消防団員を有し、就業時間中の出動に際しても職務免除を認めるなど、消防団活動への理解と協力を示しています。

災害時には所属する団員の多くを参加させ、積極的にその活動を支援し、地域防災に貢献しています。現在、団員は20人。瀬戸内市消防団中、最多の団員在籍事業所として、地域防災の中核をなしています。



さあ、音は聞こえてくるのかな？

クリーンなエネルギーを大切に

行幸幼稚園で太陽光発電点灯式

行幸幼稚園(奥田悦代園長・園児97人)で3月25日、太陽光発電点灯式が行われました。園児たちが見守る中、園

これは環境省のモデル事業で、「備前みどりのまほろば協議会」(備前市吉永町)が実施。園舎の屋根に太陽光パネル116枚を設置しました。太陽光発電は、汚染物質など

いつまでもお元気で

嘉数小志賀さんが満100歳に

3月16日、嘉数小志賀さん(邑久町山手)が満100歳を迎えました。

3月18日、野崎一正市保健福祉部長や備前県民局職員らがお祝いに自宅を訪問しました。昔は大阪で着物の仕立てをして、今でも趣味として縫い物が得意という嘉数さん。大変元氣な様子で、お祝

い状を受け取りました。元氣で長生きする秘訣は「食事を何でも食べることに。常に前向きに生きること」だそうです。現在は、デイサービスに通いながら、娘夫婦と暮らしています。嘉数さん、これからも元氣でお過ごしください。



お祝い状を受け取る嘉数さん(左)

交流活動で人づくり地域づくり

邑友タイム作品展を開催

3月9〜16日、邑久町公民館でこうこうネットワーク事業の「邑友タイム」で取り組んだ作品を展示した「邑友タイム作品展」が開催されました。

人づくり地域づくりを目的に、邑久町公民館と邑久高校の連携によるもので、地域の皆さんを講師に迎え、さまざまな講座を学習しています。

作品展では、「喜之助フェス運営ボランティア」「あったか

おはなし講座」「リサイクル講座」で作ったポスターやエプロンシスター、レターケース、布ぞうりなどを展示。会場を訪れた多くの皆さんが、熱心に見入っていました。

「リサイクル講座」講師の土松美智江さんは、「高校生たちと触れ合って、年齢差の距離感が縮み親近感がわきました。若い感覚から出るアイデアは素晴らしい」と感心した様子で話していました。



生徒たちが作った作品を熱心に見入る来館者たち

交通マナーの意識を高めよう

長船中学校が声掛け運動

長船中学校(中谷俊文校長・生徒449人)で学期末の3月26日、登下校時の交通マナーアップを図ろうと、生徒の代表らが声掛け運動を行いました。

生徒会中央役員と級長が、冬休みに交通マナー向上を呼び掛ける看板を7枚制作。千田川沿いの通学路を「親切通り」と名付け、道沿いに取り付けました。

「交通マナーの意識を高め、新入生にも心掛けてほしい」と代表の山根雅宏さん(14歳・長船町土師)。新学期からも声掛け運動は継続し行われます。



役目を終えた人形たちが供養されました

お人形さんありがとう

感謝の気持ちを込めて人形供養

邑久町本庄の地藏院で3月30日、恒例の「人形供養」が行われ、思い出の詰まった人形たちに別れを告げました。

今年、県内外から寄せられた人形は、お雛さまやぬいぐるみなど約8千体。地元の子どもたちが「お人形

さん、ありがとう」と、願い文を読み上げた後、人形とその霊を移した塔婆が護摩壇に供えられ、たかれました。

読経の中、参加者の皆さんは子どもたちの健やかな成長を願い、感謝の気持ちを込め、手を合わせました。



自転車で下校する生徒に声掛けをする中央委員会のメンバー